

京都フィロムジカ管弦楽団

第34回定期演奏会

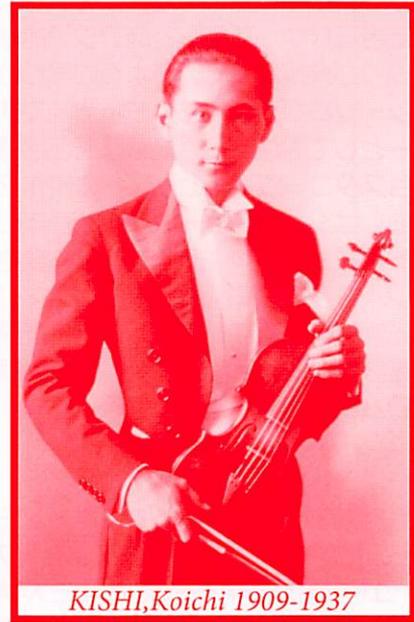
KYOTO ART CENTER 京都芸術センター
制作支援事業

❁ ショスタコーヴィチ
ロシアとキルギスの民謡による序曲

❁ リスト
交響詩『前奏曲』(レ・プレリュード)

❁ 貴志 康一
交響曲『佛陀』

(ヴァイオリン・ソロ：馬淵 清香)



KISHI, Koichi 1909-1937

学校法人甲南学園 貴志康一記念室 所蔵資料

2013年12月22日(日) 午後1時開場 2時開演

前売券:800円(当日券:900円) 全自由席

(1時15分よりロビーコンサート開催)

【チケット取り扱い】

京都芸術センター、八幡市文化センター、
JEUGIA三条本店APEX管楽器、JEUGIA三条本館APEX弦楽器

※ホームページでのチケット予約も可能です

<http://www.kyotophilo.com/>

【お問い合わせ】080-5709-9441 ticket@kyotophilo.com

八幡市文化センター

<http://www.yawata-bunka.jp/center/access/index.htm>



指揮：脇坂 英夫



- 駐車場は台数に限りがあり、当日駐車いただけないこともありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。
- 乳幼児等就学前のお子様のご入場は親子室(2階)に限らせていただきます。席数に限りがありますが、何とぞご了承ください。
- 係員の指示に従って頂けない場合はご退場いただくことがあります。

京阪・八幡市駅バスターミナル1番乗り場よりバスで5分、
「八幡市役所」下車すぐ。
(その他、京阪・樟葉駅からもバスがあります)
または京阪・八幡市駅より徒歩20分。
八幡市役所のとなり。

京都フィロムジカ管弦楽団 第34回定期演奏会

積極的に日本人作曲家の作品を取り上げてきた京都フィロムジカがついに、関西出身の伝説的な作曲家・貴志康一の作品を演奏します。貴志は20世紀前半に大阪で生まれ育ち、ベルリンでヴァイオリニスト、指揮者、作曲家として活躍しました。そして、25歳でベルリン・フィルを指揮して自作を演奏するなど大成功をおさめますが、帰国後、病気のため28歳の若さで亡くなりました。今回フィロムジカが演奏する交響曲『佛陀』は、貴志がベルリンで作曲し、ベルリン・フィルで自ら指揮して初演した作品です。ドイツ的な4楽章構成の交響曲と東洋の精神的支柱の一つである仏教を融合させた傑作で、単身ドイツに乗り込んだ若き東洋の音楽家の気概が感じられます。各楽章には釈迦（佛陀）にちなんだテーマが設けられています。第1楽章は、アジアの果てしない広がり、争いに警鐘を鳴らし啓蒙者となる釈迦が描かれた、雄大かつ雄弁な音楽です。第2楽章は、釈迦の母を描いた気高く慈悲深い音楽。スケルツォの第3楽章は地獄のイメージを描き出した苛烈な音楽で、ゆったりとした楽章が多いこの作品の中で異彩を放ちます。終楽章では釈迦の涅槃を描き、穏やかに消えるように終わります。特殊楽器を多用したきらびやかな色彩で南アジア的な雰囲気を描き出すオーケストレーションは実に見事で、映画製作でも活躍した貴志の多才ぶりが発揮されているように思われます。また、ヴァイオリニストとしても活躍した貴志らしく、全曲にわたってヴァイオリン・ソロが活躍するのも特徴的です。今回は客演コンサートミストレスに、大阪を中心にソリストやオーケストラ・プレイヤーとして活躍する馬淵清香氏を招聘します。馬淵氏のヴァイオリン・ソロにも大いに期待されます。

前半ではショスタコーヴィチとリストの佳作2曲が演奏されます。1曲目のショスタコーヴィチ作曲『ロシアとキルギスの民謡による序曲』はショスタコーヴィチが晩年に書いた逸品です。演奏時間10分に満たない小品でありながらも、引き締まったオーケストレーションや生命力あふれる変拍子など、ショスタコーヴィチの面白さの粋が濃縮されています。

2曲目のリスト作曲・交響詩『前奏曲』(レ・プレリュード)は、19世紀の名ピアニストにして大作曲家であるリストの、最も人気のある管弦楽曲です。文学にも造詣が深かったリストは、音楽によって物語を紡ぎだす「交響詩」というジャンルを確立します。『前奏曲』はそうした「交響詩」の傑作で、「死への前奏曲」と見立てた人間の一生を、表情豊かに描き出します。

指揮はフィロムジカ初登場となる脇坂英夫氏。関西に根を張った地道な音楽活動を続けてきたマエストロです。

指揮 脇坂 英夫 (わきさか ひでお)

京都市立芸術大学音楽学部卒業。トロンボーンを大和久俊寿氏に師事。卒業に際して「田中賞」を受賞し同年の卒業演奏会および関西新人演奏会に出演する。1982年宇治シティフィルハーモニーを結成し、以来60余回の定期演奏会を指揮。また、これまでに京都グリーン・ユース・オーケストラ、京都三大学合同交響楽団、京都ディレクターズバンド、関西フルート・オーケストラなどでの客演のほか、滋賀県立大学オーケストラでは毎年客演指揮を行っている。現在、府立高等学校において教鞭をとるかたわら、宇治シティフィルハーモニー代表としてアマチュア音楽活動の発展に力を注いでいる。

管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、関東や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

新入団員大募集中！

～私たちと一緒に演奏しませんか？ まずはお気軽に見学にお越しください。団員一同、お待ちしております。～
私たち京都フィロムジカ管弦楽団では、第36回定期演奏会(2014年度・冬期)で、ショスタコーヴィチの大作「交響曲第12番」の演奏を目指しており、それに向けて団員を増強しています。「一緒に演奏したい！」という皆様のご参加をお待ちしています。

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス (弦楽器急募！！)

オーボエ・ファゴット・ホルン・トランペット・打楽器

※募集パートは随時変わることがありますのでホームページもご覧下さい。

〔参加資格〕 練習に出席できること。年齢制限はありません。学生の方の参加も歓迎します

〔練習日時〕 毎週日曜日(原則午後1時～午後5時) 春と秋に練習合宿(大津市内)

〔練習場所〕 京都芸術センター、河原町丸太町・荒神口周辺・伏見など京都市内各所のほか、大津市など

〔諸費用〕 活動費ひと月3000円、合宿費10000円程度、演奏会参加費20,000～30,000円(学生は半額)

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: recruit@kyotophilos.com

Web サイト (<http://www.kyotophilos.com/>) では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第35回定期演奏会: 2014年6月15日(日) 長岡京記念文化会館